

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2019年9月) 第114号

活動日	時間	天候	記録者
2019年9月12日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2019年9月25日(水)	9:30~12:00	(晴)	

参加者氏名 (12+8名)	(9月12日) 菅田忠志、小林澄夫、塩ノ谷年子、橋野美子、清水英輔、佐藤泰仙、 俵貴志子、田路義弘、米倉進、中西優、山田喜義、若尾孝子、
	(9月25日) 伊牟田雅子、菅田忠志、佐藤泰仙、塩ノ谷年子、橋野美子、山田喜義、 米倉進、中西優

今月実施した 作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 林内作業道の内、野草の繁茂が目立つ部分の刈込み作業(継続) 2. 倉庫周辺の整理・清掃作業 3. 今秋産卵したカブトムシの孵化状況確認
----------------	--

9月12日



8月を夏休みとしていることから、毎年この時期の下草、特にネザサの繁茂が激しく、作業道の整備・草刈りを実施。もう少し時期が進み、今年開花したササユリの実がしっかり熟すのを待って、刈払機で刈っていく予定。



2年前の2017年9月に植樹したクリの苗木4本の周辺の刈込を丹念に行う。3本は順調に生育しているが、残念ながら1本は枯れてしまった模様。「桃栗3年柿年」というが、実をつけるには5年以上はかかるらしい。



気になっていた倉庫裏の不要物を整理し、手分けして持ち帰り、廃棄処分とした。

【トピックス①】



花実の森で初めて咲いた「ウバユリ(ユリ科の多年草)」
花はユリに似ているが葉の形は全く異なる。やはり種からだと開花まで7、8年かけてやっと咲いたものと思えるが、花が咲かない限り毎年芽を出していたのかもしれない。今後この周辺で増えていくことを期待したい。12月にはタネの取りまきと、ポット植えにも挑戦してみたい。また、来春には特徴のある新芽が周辺に自生していないかの観察もしてみたい。

=====

9月25日



この夏に成虫が産卵し、孵化した幼虫の生育状況の確認を行った。
①②③⇒今年せっせとチップ掛けし、まだ腐葉土化していない小さな小枝がごつごつしたところだが多くの幼虫が育っている模様。
④⑤⇒古い腐葉土の生育場所にはほぼゼロの状況だった。このことから、やはり腐葉土の使いまわしはできないことがはっきりした。

【トピックス②】



こちらにも花実の森で初めて見かけた昆虫。“ナナフシ”と思えるけれど、フシの具合がはっきりしない。どなたか昆虫に詳しい人に聞いてみよう。調べていて面白いことがわかった。大学の先生チームの調査・研究の途中だそうですが、飛べないナナフシの繁殖範囲を広げる手段は、鳥に植物の実を食べてもらい、種を糞と一緒に出してもらうように、ナナフシは自身も鳥に食べてもらいながら、体内のかたい殻の卵を糞と一緒に出して貰う方法をとっているらしい。さらにナナフシはメスだけでも繁殖できる昆虫なのでこの方法でも繁殖するらしい。実に驚きの生態である。

=====

【花実の森 9月の花だより】



林内作業道の整備：一部腐食した階段の取り換え作業を実施。



ツリガネニンジン



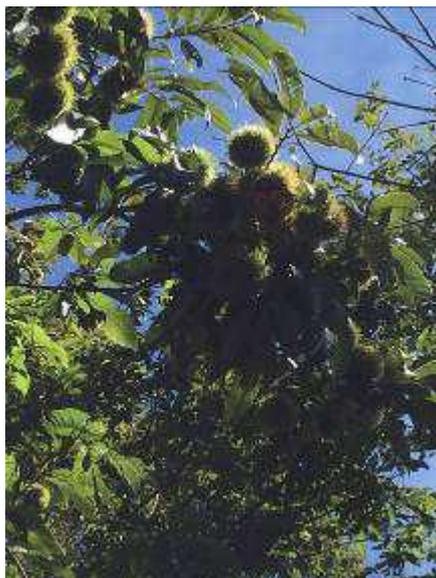
ワレモコウ



ヤマハギかな？



シラヤマギク



シバグリ

